

日本一美しい山のトイレ休憩所を目指して

— 石鎚山公衆トイレ維持管理スタッフの合言葉 —

H30年に入り2月にかけて、石鎚山は積雪が多く冷え込みました。3月になって暖かい日が続き、雪解けも急速に進んだせいもあったのか、石鎚山の木々も例年より早めに花を咲かせました。山肌を一斉に染めるアケボノツツジの花付きもよく、見ごたえがありました。

土小屋登山道も積雪による大きな被害がなく、5月大型連休の二ノ鎖元はいつもの賑やかさが戻ってきました。成就ルートも土小屋ルートも残雪は殆んど消え、新緑の中を汗をぬぐいながらの登山者が目立つようになりました。石鎚山公衆トイレ休憩所で一休みし、トイレを済ませて山頂へのアプローチが始まります。

この休憩所は四季を通して重要な登山基地になり、安全登山と遭難事故防止の重要な役割を担っています。トイレ休憩所の前からは瓶ヶ森～笹ヶ峰に続く石鎚山脈も赤石山系も、瀬戸内海もしまなみ海道も眺望できます。

登山者同士の情報交換も盛んに行われ、体力回復の場所にもなります。きちんとした情報を登山者に伝えることもまた役割の一つと考えています。(渡辺)



石鎚山公衆トイレ休憩所報告

～維持管理の現場から～



強風が吹き荒れた5月初め、トイレ入り口のドアのガラスが風の影響で割れてしまいました。応急処置用のコンパネを持って上がっていると、二ノ鎖元鳥居の近くの笹原に、見覚えのあるスコップがありました。トイレ休憩所前にかけてあるスコップが1つ飛ばされていたのです。

登山者に当たらずに本当に良かったのですが、だれでも使えるようにしてある以上しっかり管理もしないといけない。使用する方もしっかり止付けましょう。肝心の窓ガラスはその後風にも衝撃にも強い材質へと修理交換されました。



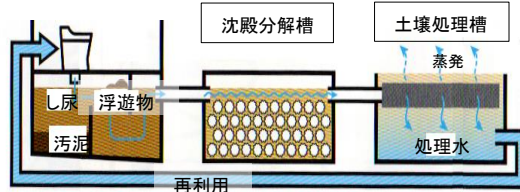
- アケボノツツジ 紀伊半島から四国の高所に咲く落葉中木。日当たりのよい岩場や疎林を好む。5月初旬にかけて山肌をピンク色に染める。
別名：ペニヤシオ
近縁種：アカヤシオ（東北部～中部の太平洋側）



▼4月23日に冬期閉鎖を解除

山のトイレの仕組み 環境配慮型

石鎚山の山中には電気も水もありません。このため微生物の働きで汚水を緩やかに浄化しています。土壌処理槽をくぐってきれいになった水は足踏みポンプで汲み上げて、再利用されています。トイレトーパーの主原料が難分解物質のセルロースなので、トイレに流さずペールに入れてもらい、定期的に荷下ろしをしています。



石鎚山環境保全応援団 申し込み

石鎚山の自然環境と一緒に守っていただける応援団(団体・個人)を随時募集中
(ご寄付頂いた各社の名を休憩所の壁に貼らせていただいています)

石鎚山クリーンアップ協議会事務局

(西条市観光振興課 担当: 柳原/越智)

TEL 0897-52-1690

MAIL kanko@saijo-city.jp

